

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和6年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

24日に気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」が実施した海上からの観測では、第十一管区海上保安本部が7月に実施した観測（「硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和6年7月）」参照）に引き続き、硫黄岳火口及びグスク火山火口周辺火口で、白色の噴気を確認しました（図2、図3）。また、風下側で硫化水素臭を確認しました。なお、海岸付近で顕著な変色水は認められませんでした。



図1 硫黄鳥島 硫黄岳火口及びグスク火山火口の位置と図2及び図3の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



図2 硫黄島 硫黄岳火口周辺の状況（24日）

- ・第十一管区海上保安本部が7月に実施した観測に引き続き、硫黄岳火口から白色噴気の放出を確認しました。



図3 硫黄島 グスク火山火口の状況

- ・第十一管区海上保安本部が7月に実施した観測に引き続き、グスク火山火口周辺で少量の白色の噴気を確認しました（写真から判別できませんが、目視観測で噴気が確認されています）。